

決算補足説明資料

FY24 1Q

2024年5月10日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。
連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY24：2024年12月期

FY24 1Q業績

- 音響機器関連事業の成長及び為替の円安効果もあり、増収増益
- 期初の通期業績予想に対し、高い進捗率で推移
- 個社別では、テイボーは減収減益、AlphaThetaとJLabは増収増益で着地

FY24 通期連結業績予想

- 1Qの事業進捗及び想定為替レートの見直しを反映し、通期業績予想について上方修正。2Q以降は不確実性を考慮し保守的に織り込むものの、期初の増収減益予想から増収増益予想へ
- Seratoの取得及びプリメディカの売却については、クロージング前のため予想に反映せず
- 個社別では、テイボーは変更なし。AlphaTheta、JLabは上方修正
- 配当予想は、配当性向40%以上とする目標に変わりはないものの、現時点では変更なし

Contents

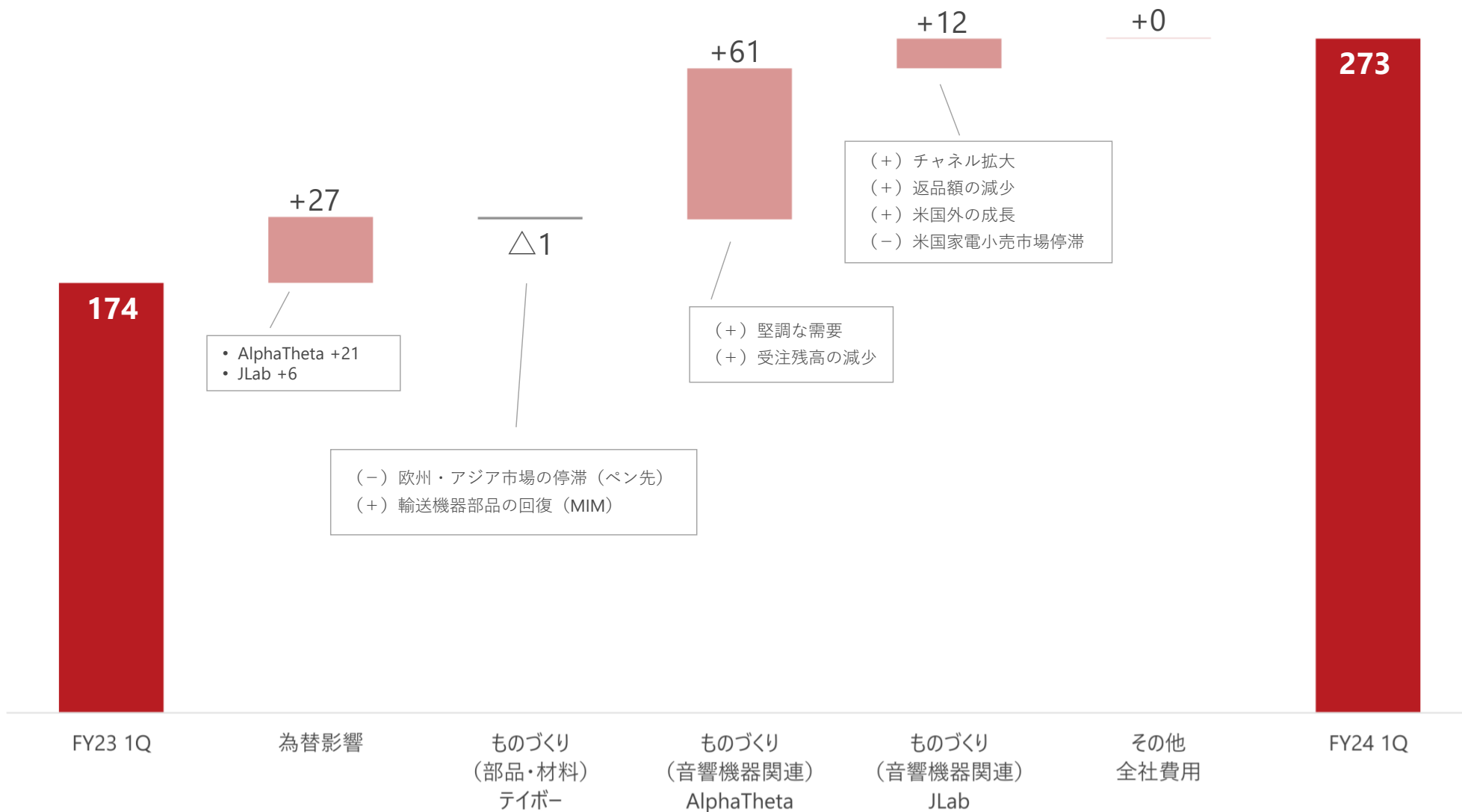
1. **FY24 1Q連結業績**
2. **FY24 通期連結業績予想**
3. **トピック**

- 音響機器関連事業の成長及び為替の円安効果もあり、増収増益
- 期初の通期業績予想に対し、高い進捗率で推移。AlphaThetaの出荷の増加及びJLabの返品額の減少は、一部先取りの可能性あり

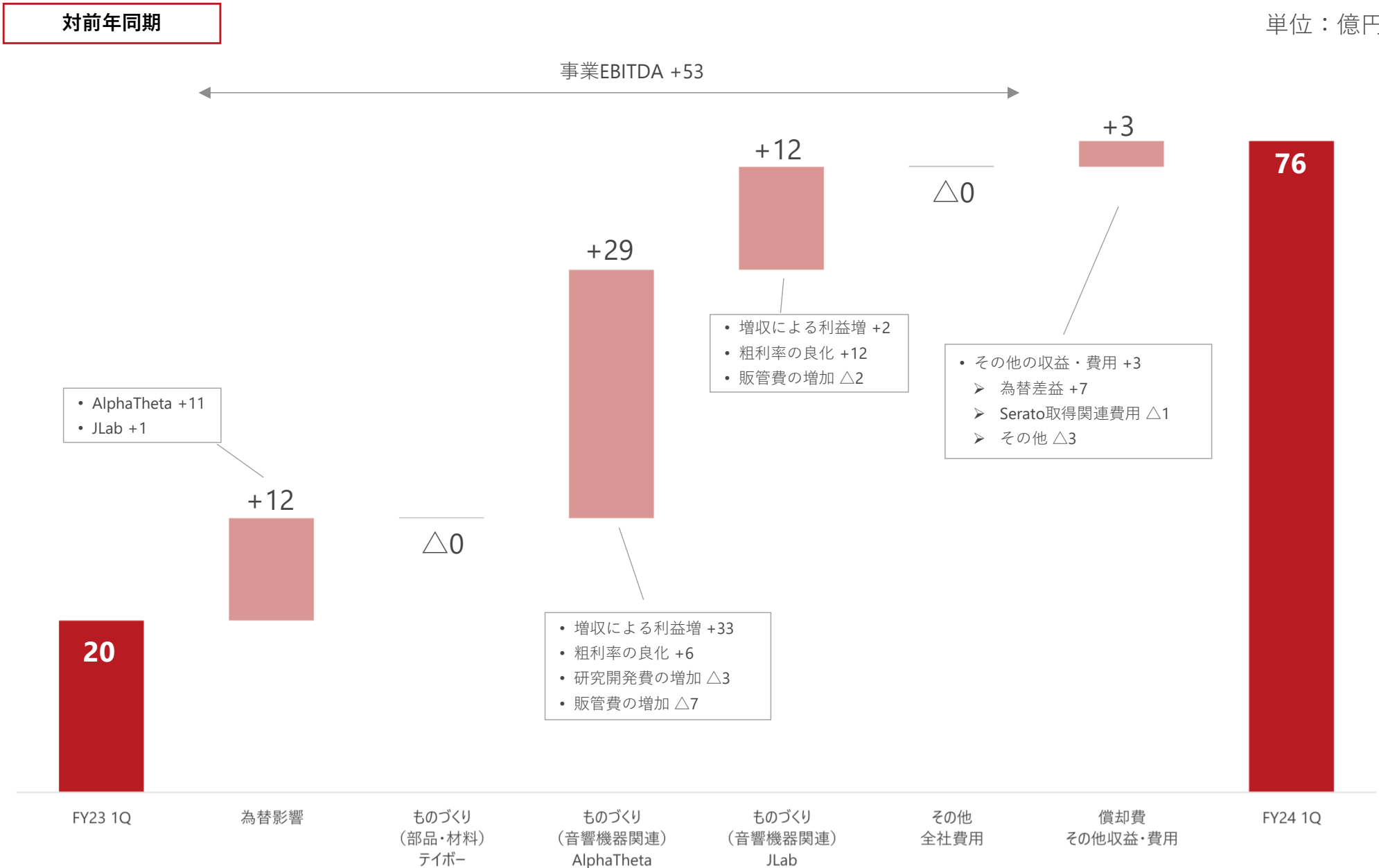
単位：百万円		FY23 1Q	FY24 1Q	増減額	増減率
売上収益		17,398	27,304	+9,906	+56.9%
事業EBITDA		2,552	7,847	+5,295	+207.5%
事業EBITDAマージン		14.7%	28.7%	+14.1%	-
営業利益		2,020	7,640	+5,619	+278.2%
当期利益		1,051	5,235	+4,183	+397.7%
為替レート (平均)	米ドル (円)	132.3	148.6	+16.3	-
	ユーロ (円)	142.1	161.3	+19.2	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	133.5	151.4	+17.9	-
	ユーロ (円)	145.7	163.2	+17.5	-

単位：億円

対前年同期

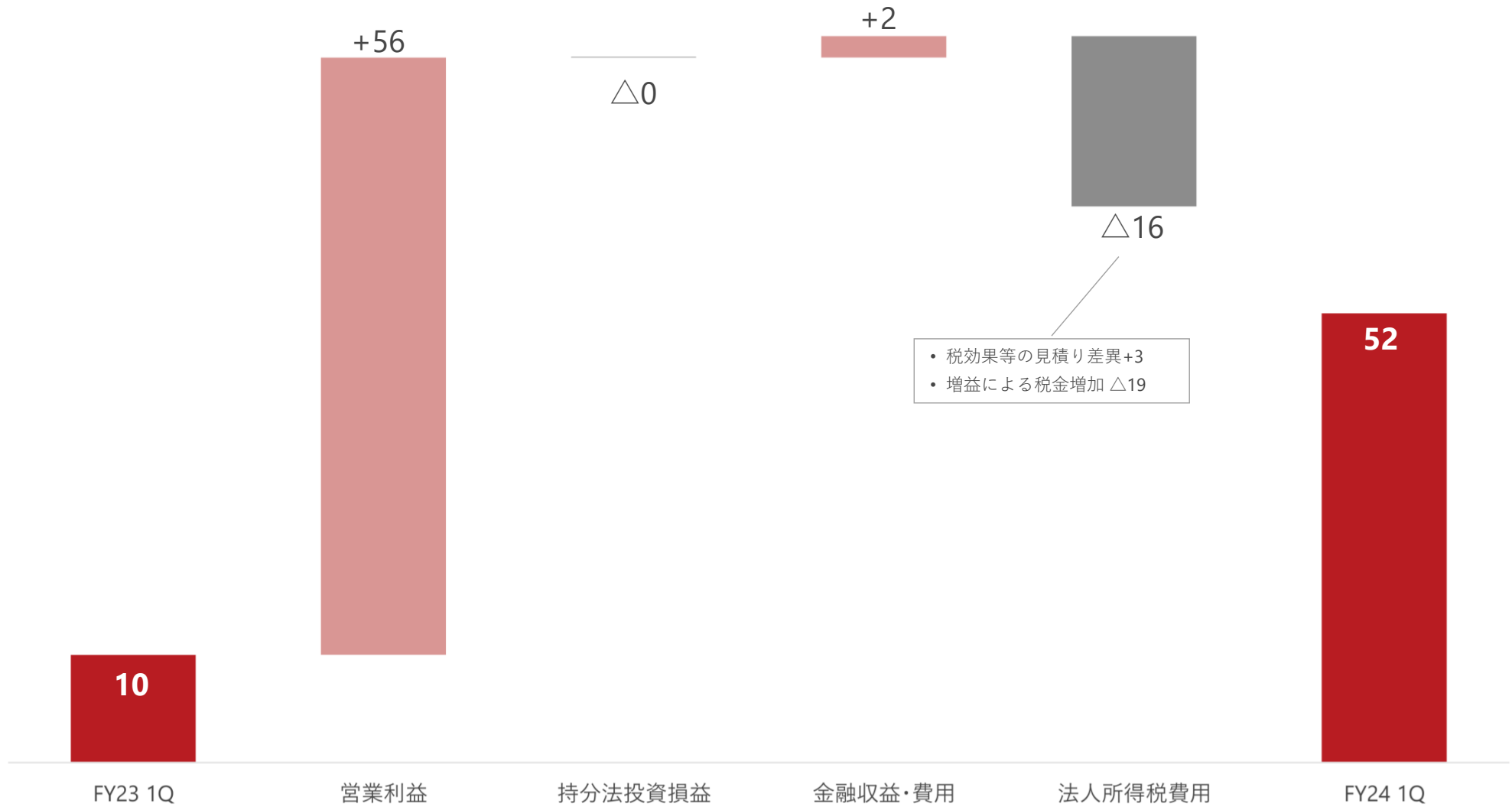


単位：億円



対前年同期

単位：億円



大きな変化はなく、財務健全性を維持

バランスシート

単位：百万円	FY23	FY24 1Q	増減額
現金及び現金同等物	70,190	76,084	① +5,894
売上債権及びその他の債権	14,683	13,723	△960
棚卸資産	17,164	18,035	+870
のれん	49,256	49,956	+700
無形資産	77,125	78,049	+923
その他資産	51,051	49,596	△1,454
資産合計	279,471	285,445	+5,974
仕入債務及びその他の債務	6,454	7,059	+604
借入金	39,016	38,235	△781
その他負債	28,155	29,809	+1,654
負債合計	73,626	75,105	+1,478
資本合計	205,844	210,340	+4,496

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 +58億円
 - ・ 営業CF +90億円
 - － 事業EBITDA +78億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 +10億円
 - ・ 投資CF △1億円
 - ・ 財務CF △43億円
 - － 借入金の返済 △8億円
 - － 配当金の支払い △32億円

財務健全性

有利子負債	39,016	38,235	△781
現金性資産	91,700	94,840	+3,139
Net Debt	△52,684	△56,604	△3,920

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY23 1Q	FY24 1Q	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	2,856	2,713	△142	-5.0%
	事業EBITDA	650	596	△53	-8.3%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	14,211	24,208	+9,997	+70.3%
	事業EBITDA	2,081	7,436	+5,354	+257.2%
AlphaTheta	売上収益	10,718	18,934	+8,216	+76.7%
	事業EBITDA	2,659	6,707	+4,048	+152.2%
JLab	売上収益	3,493	5,274	+1,781	+51.0%
	事業EBITDA	△577	728	+1,306	-
その他・全社費用	売上収益	331	382	+51	+15.6%
	事業EBITDA	△180	△185	△5	-
連結合計	売上収益	17,398	27,304	+9,906	+56.9%
	事業EBITDA	2,552	7,847	+5,295	+207.5%

Contents

1. FY24 1Q連結業績
2. **FY24 通期連結業績予想**
3. トピック

全事業共通

- 為替について、2Q以降は期初予想より円安の想定で米ドル145円、ユーロ158円

ものづくり（部品・材料）/テイボー

- 通期予想を据え置き
- ペン先、MIMともに見通しに変化なし

ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 通期予想を上方修正
- 1Qでの上振れの一部は前倒しが発生した前提で予想に反映
- Seratoの株式取得はクロージング前のため反映せず

ものづくり（音響機器関連）/JLab

- 通期予想を上方修正
- 1Qでの上振れの一部は前倒しが発生した前提で予想に反映

その他/プリメディカ

- プリメディカの株式売却はクロージング前のため反映せず

- 1Qの事業進捗及び想定為替レートの見直しを反映し、通期業績予想について上方修正
- 2Q以降は不確実性を考慮し保守的に織り込むものの、期初の増収減益予想から増収増益予想へ

単位：百万円		FY24 期初予想	FY24 5/10付修正予想	対期初予想	FY23	対前期
売上収益		97,600	103,500	+5,900	91,552	+ 13.0%
事業EBITDA		18,800	21,000	+2,200	17,875	+ 17.5%
事業EBITDAマージン		19.3%	20.3%	+1.0%	19.5%	+0.8%
営業利益		13,400	16,000	+2,600	14,462	+ 10.6%
当期利益		8,600	10,300	+1,700	10,199	+1.0%
為替レート (平均)	米ドル (円)	140.5	145.9	+5.4	140.6	+5.3
	ユーロ (円)	152.0	158.8	+6.8	152.0	+6.8
為替レート (期末)	米ドル (円)	140.5	145.0	+4.5	141.8	+3.2
	ユーロ (円)	152.0	158.0	+6.0	157.1	+0.9

- テイボーは、予想を変更せず
- AlphaTheta、JLabはいずれも上方修正

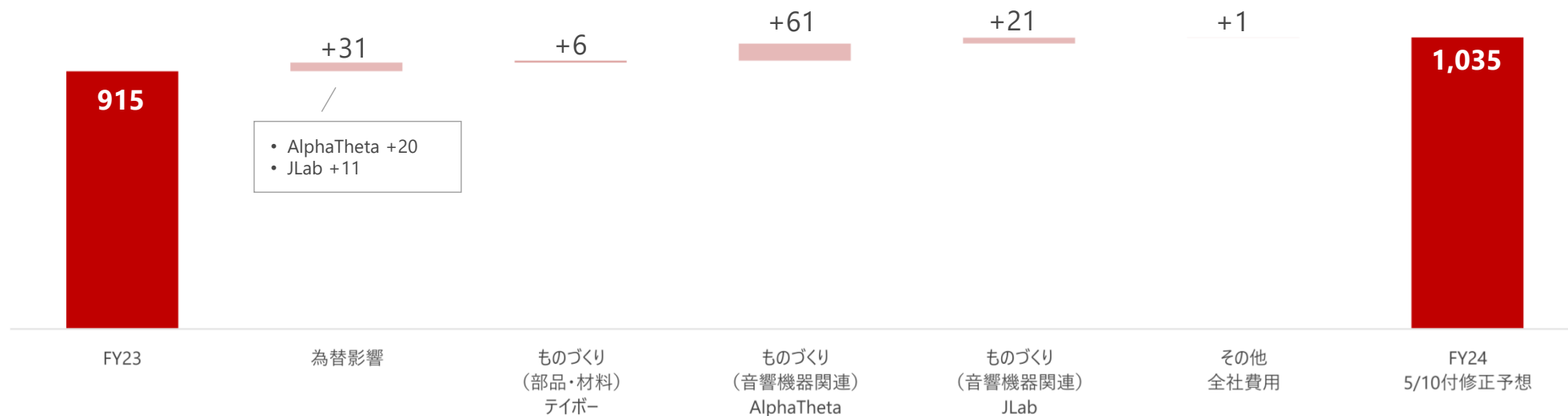
単位：百万円		FY24 期初予想	FY24 5/10付修正予想	対期初予想	FY23	対前期
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,400	12,400	-	11,781	+5.3%
	事業EBITDA	3,500	3,500	-	3,198	+9.4%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	83,600	89,500	+5,900	78,270	+14.3%
	事業EBITDA	16,400	18,600	+2,200	15,814	+17.6%
AlphaTheta	売上収益	55,600	60,000	+4,400	51,930	+15.5%
	事業EBITDA	13,500	15,400	+1,900	13,352	+15.3%
JLab	売上収益	28,000	29,500	+1,500	26,340	+12.0%
	事業EBITDA	2,900	3,200	+300	2,462	+29.9%
その他・全社費用	売上収益	1,600	1,600	-	1,500	+6.7%
	事業EBITDA	△1,100	△1,100	-	△1,138	-
連結合計	売上収益	97,600	103,500	+5,900	91,552	+13.0%
	事業EBITDA	18,800	21,000	+2,200	17,875	+17.5%

単位：億円

対期初予想

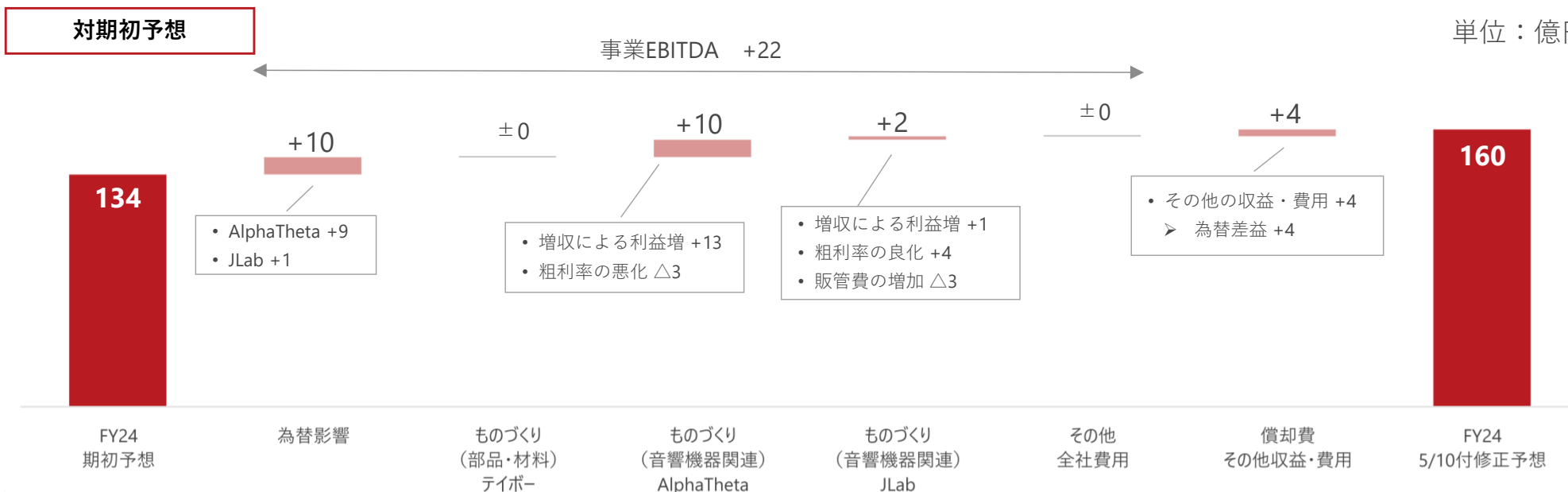


対前期

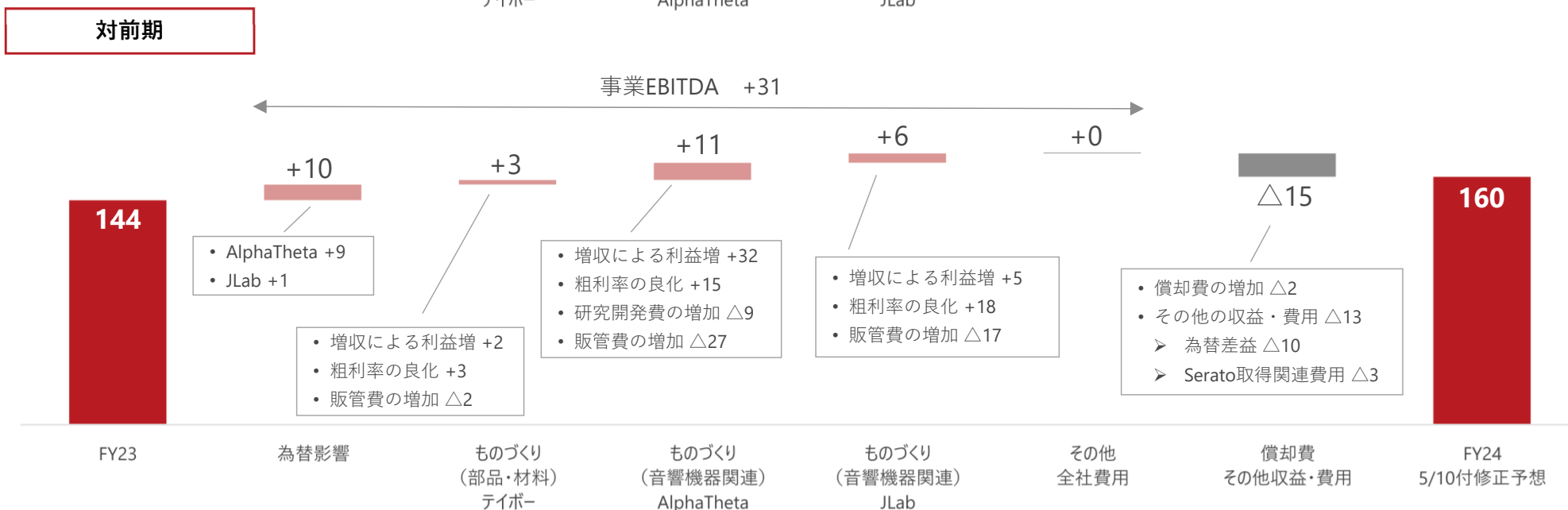


単位：億円

対期初予想



対前期

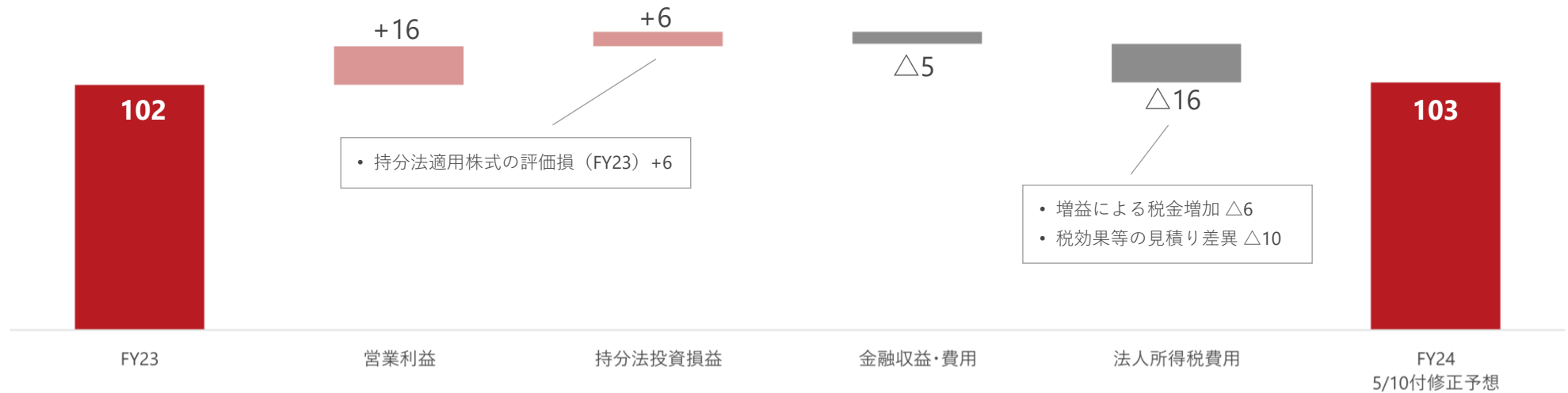


単位：億円

対期初予想



対前期



Contents

1. FY24 1Q連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

地元地域への文化貢献（テイボー）や、新商品の販売（AlphaTheta）、米国の様々なスポーツが行われるカレッジスポーツリーグへの協賛（JLab）など、各社活動を展開

■ テイボー

浜松市動物園 春の写生大会に自社の製品が使用されているペンセット400人分を寄贈



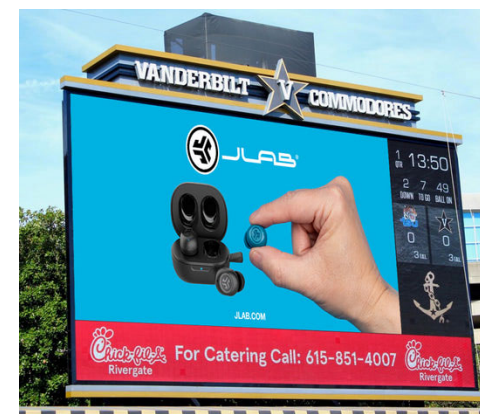
■ AlphaTheta

Euphoric Harmonies: Rupert Neve Designs社のトランス搭載 プロフェッショナルロータリーミキサー「euphonia」登場



■ JLab

新たにカレッジスポーツのメインスポンサーに。大学の各スポーツリーグを横断で協賛



Appendix

単位：百万円		FY24 2Q累計 期初予想	FY24 2Q累計 5/10付修正予想	対期初予想	FY23 2Q累計	対前年同期
売上収益		45,000	50,000	+5,000	41,469	+ 20.6%
事業EBITDA		8,600	11,600	+3,000	8,046	+ 44.2%
事業EBITDAマージン		19.1%	23.2%	+4.1%	19.4%	+3.8%
営業利益		5,700	9,100	+3,400	7,365	+ 23.6%
当期利益		3,700	5,800	+2,100	4,454	+30.2%
為替レート (平均)	米ドル (円)	140.5	146.8	+6.3	134.9	+11.9
	ユーロ (円)	152.0	159.7	+7.7	145.8	+13.9
為替レート (期末)	米ドル (円)	140.5	145.0	+4.5	145.0	-
	ユーロ (円)	152.0	158.0	+6.0	157.6	+0.4

FY24 上半期セグメント別業績予想

単位：百万円		FY24 2Q累計 期初予想	FY24 2Q累計 5/10付修正予想	対期初予想	FY23 2Q累計	対前年同期
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,900	5,900	-	5,808	+1.6%
	事業EBITDA	1,600	1,600	-	1,522	+5.1%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	38,300	43,300	+5,000	34,984	+23.8%
	事業EBITDA	7,600	10,600	+3,000	6,938	+52.8%
AlphaTheta	売上収益	27,600	31,300	+3,700	25,184	+24.3%
	事業EBITDA	7,100	9,300	+2,200	7,053	+31.9%
JLab	売上収益	10,700	12,000	+1,300	9,800	+22.4%
	事業EBITDA	500	1,300	+800	△115	-
その他・全社費用	売上収益	800	800	-	675	+18.3%
	事業EBITDA	△600	△600	-	△414	-
連結合計	売上収益	45,000	50,000	+5,000	41,469	+20.6%
	事業EBITDA	8,600	11,600	+3,000	8,046	+44.2%

為替の各事業への影響について

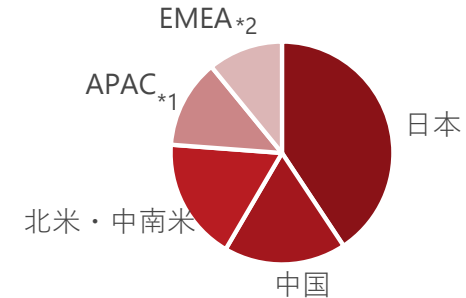
- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

FY23 地域別売上収益構成比

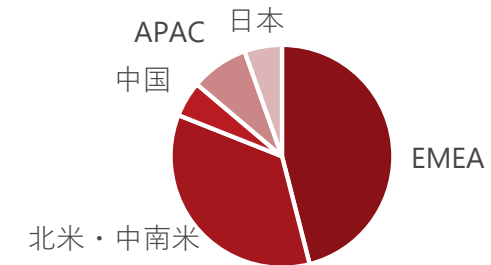
テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**



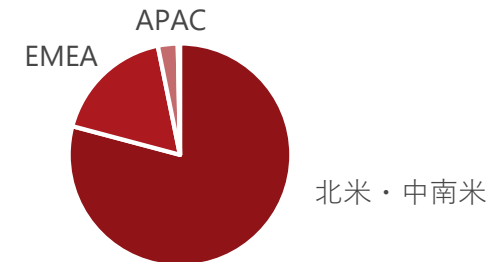
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**



JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

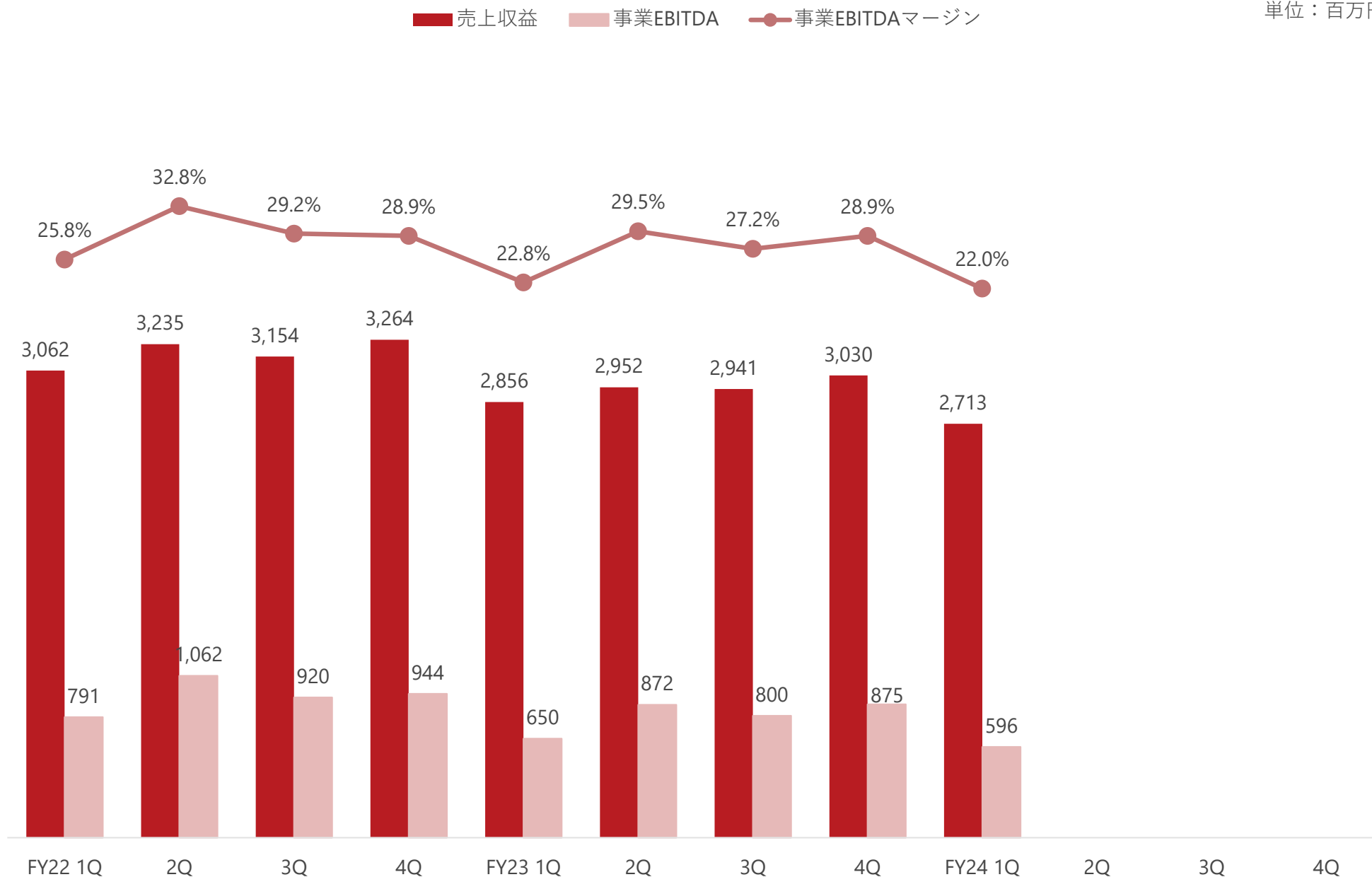
為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

為替レートの1円円安による影響額

通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	145.9円	+3.7億円	+0.1億円	+0.2億円
ユーロ	158.8円	+1.6億円	+1.4億円	+1.9億円

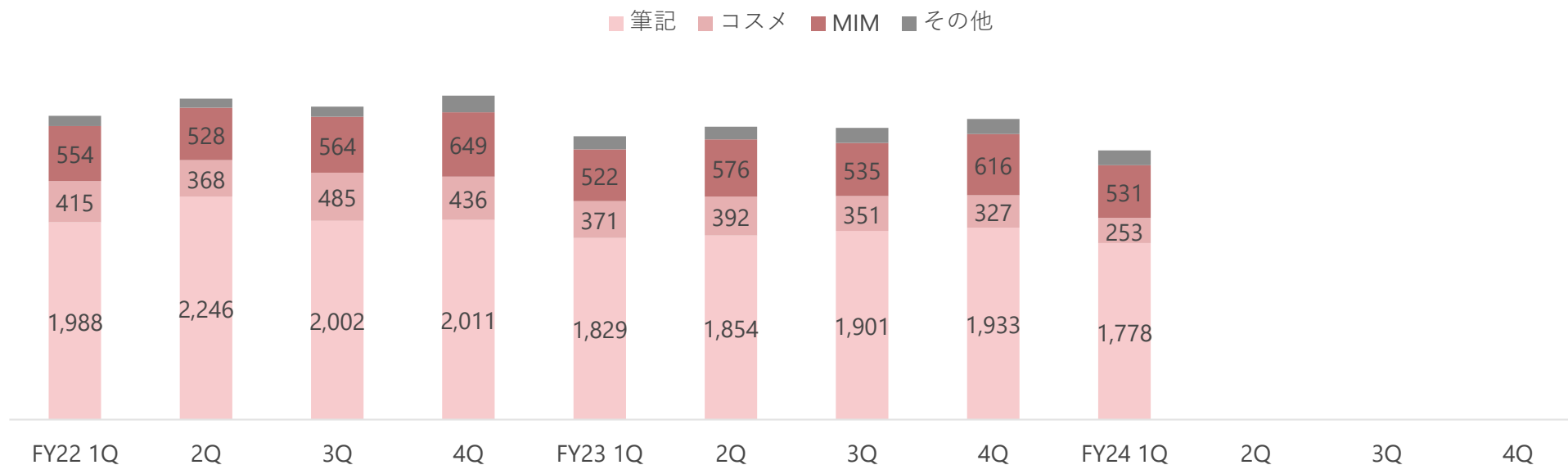
■ 四半期推移－ものづくり（部品・材料）/テイボー

単位：百万円



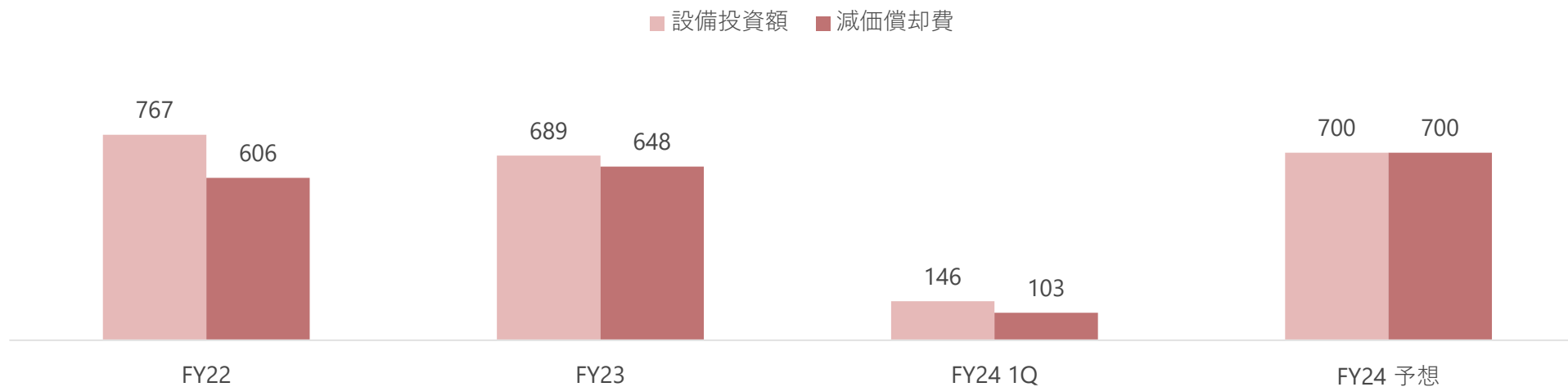
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



設備投資・減価償却費^{*1}

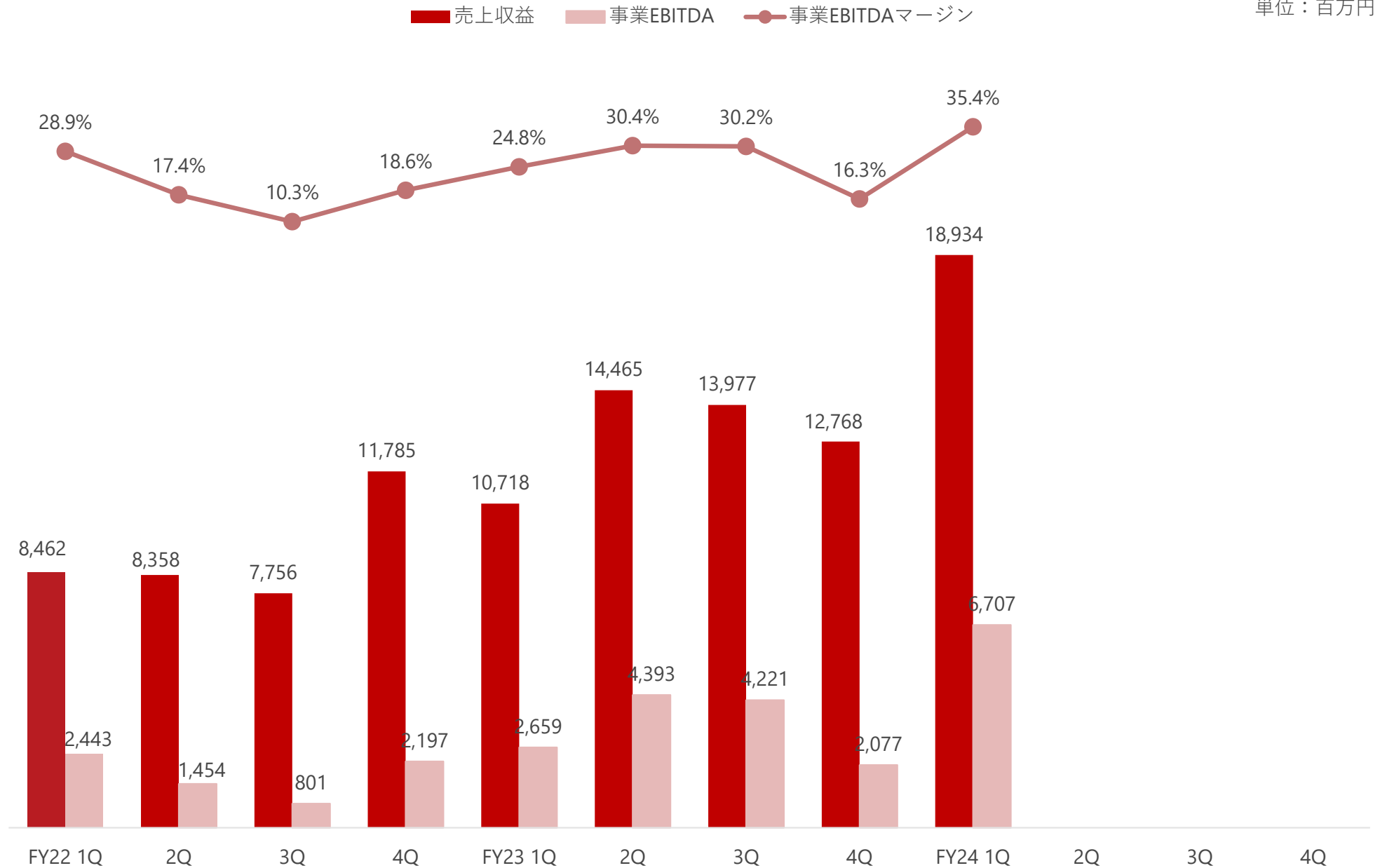
単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

単位：百万円

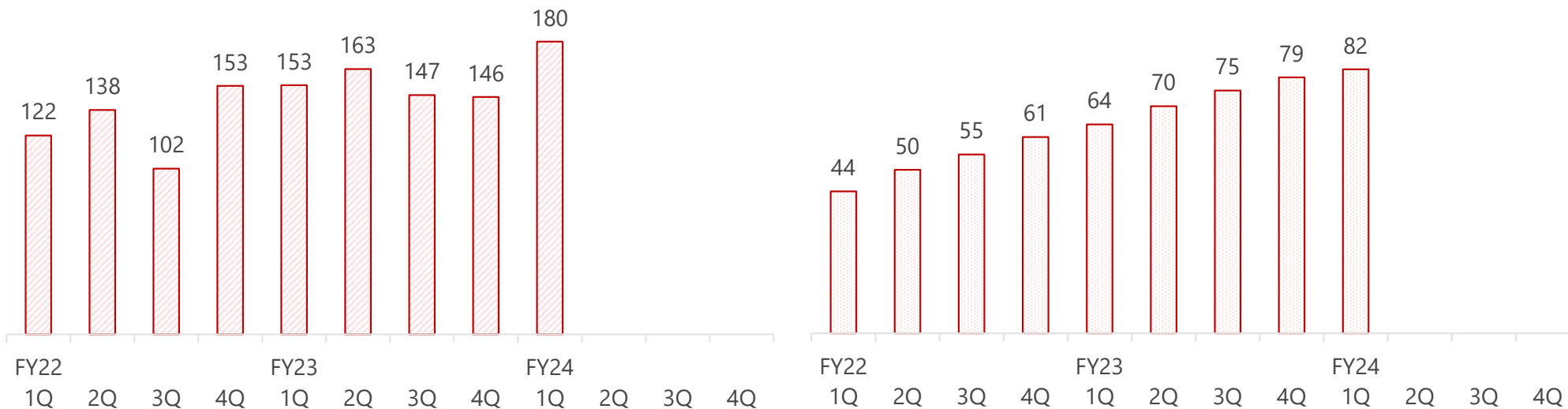


DJ機器出荷台数

単位：千台

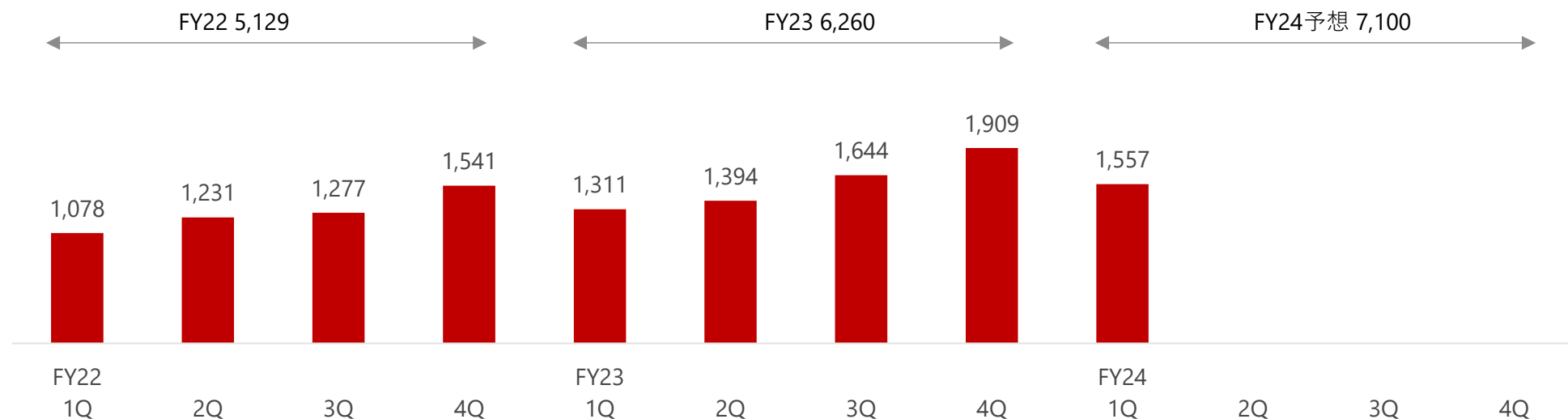
DJ向けアプリケーションMAU

単位：万人



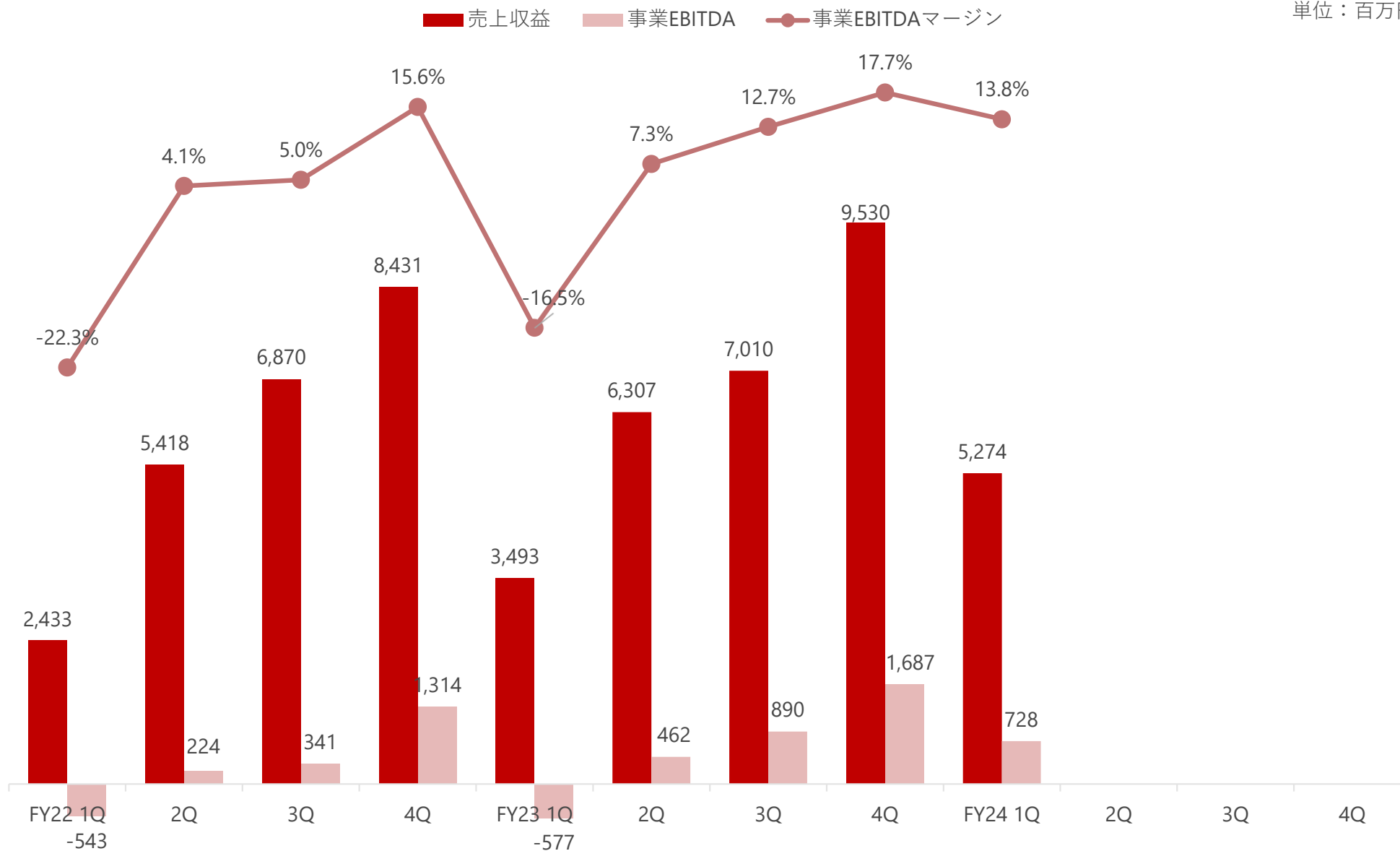
研究開発費

単位：百万円

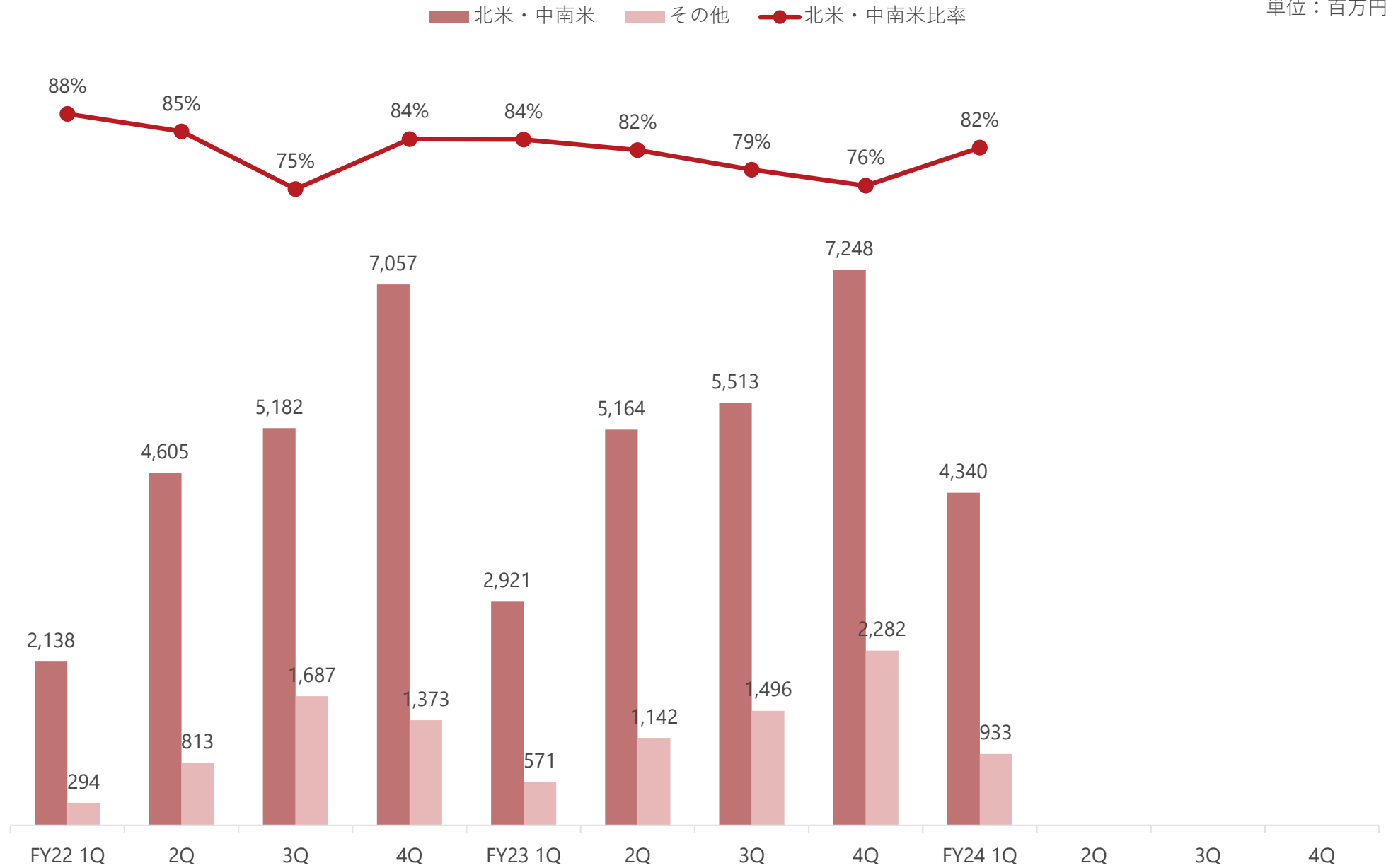


■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/JLab

単位：百万円



単位：百万円



社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役 岩切 隆吉

横張 亮輔

村瀬 和絵

取締役
(監査等委員)

太田 晶久

伊庭野 基明

高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）

- ・マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）

- ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
（旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited

AlphaTheta Music Americas, Inc.

AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer, CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイスおよびテクノロジー製品の設計及び販売